

生活環境整備

交通弱者の移動手段確保は

意見を集約し確保に努める

問 買物、通院など交通弱者に対する移動手段の確保は、どのような方法で実行するか問う。

答 子育て世代への支援を問う。

答 大西町長

地域住民の日々の生活を支えるために一日も早い利便性の高い公共交通体系の構築、移動手段の確保が求められる。地域の利用者の意見集約を進め、また、あったかふれあいセンターの知見も借りながら利便性の高い移動手段の確保に努める。

答 大西町長

子育て世代への支援は、教育と併せて次の世代への投資であり充実したものにしていかなければならない。家計支出の多い子育て世代へしっかりと支援する。子育て支援施策全体の実効性を高めるため政策全体の見直しを図る。

問 辺地の生活を守るための制度を活用し整備実施するか。

答 渡辺企画調整室長

辺地対策事業債は、生活文化水準の格差を是正することを目的とし、国の財政上の支援を受けることができ、町において

財政運営上、最も有利な地方債、国県の補助等と組み合わせると更に自主財源の縮小が可能になる。今年度、馬荷辺地は町道馬荷線他2路線。又、本年度計画を策定した鈴熊野浦辺地は町道成又・熊野浦線他3力所。地区と調整を図りながら計画的に事業を進めている。

交通安全 不破原の 安全対策は 今後とも 取り組む

問 不破原集落内の国道56号交差点で追い越しをしている自動車を見受ける。大変危険な行為である。どのような対策を行ったか。

答 河村地域住民課長

道路交通法では、交差点、横断歩道等の手前30m以内は進路変更、追い抜きが禁止。しかし、不破原の交差点は追い越しを行う車がいるため、大

変危険であると承知している。

中村警察署から、道路の文字表示、看板による注意喚起、ゼブラゾーンへのポールコーン設置などの提案があった。

警察署は、事故防止対策として速度違反などの取り締まり強化を行い、

交通事故の抑制を図ること。

今年度、不破原地区の速度違反取り締まり機の設置と追い越し禁止車線の要望を警察署へ行っているが、まだ正式な回答はもらっていない。



安全対策が急がれる不破原の道路

地域振興

種々の変動等 対策は

施設園芸を 推進

問 水稲など他作目へ転換を含め赤字経営の脱却支援は。

答 斉藤農業振興課長

近年の温暖化や豪雨等の影響による農作物、農業用施設への被害や鳥獣被害、特にイノシシやハクビシンなどによる農作物への被害により、農業者に大きな影響があることは認識している。対策として水稲から施設園芸を推進している。

問 イノシシ等の捕獲等に対する財政支援は。

答 今西海洋森林課長

報償費は県内での例はないが検討課題。単価は長期にわたり据え置きになっているため、今後検討する。